

(案)

県立高校改革実施計画（Ⅲ期）の一部改定について

Ⅲ期計画での県立高校の再編・統合は、公立中学校卒業予定者の動向等を見定め、段階的に実施することとしていましたが、計画期間外に再編・統合する対象校（期外）を反映するため、Ⅲ期計画を一部改定します。

Ⅲ 再編・統合等の取組み

7 「重点目標 7 少子化社会における適正な規模等に基づく県立高校の再編・統合に取り組めます」にかかる具体的な取組み

（3）県立高校の適正配置

再編・統合による適正配置（全日制）

少子化社会における県立高校の適正配置を進めるため、実施計画（全体）で示した次の考え方に基づき再編・統合に取り組めます。

再編・統合による配置の考え方

- 県立高校改革の計画の全期間を通じて、次の考え方に基づき再編・統合を行います。
 - ・ 公教育の保障の観点から、生徒数の動向に対応した学校数・学級数を確保
 - ・ 全日制進学率の向上を図るため、必要な定員数を確保
 - ・ 全県を、隣接する旧学区※¹を組み合わせる区分した5つの地域を基本に再編
 - ・ 中学生の進路希望や高校タイプ等の地域バランス、生徒の通学利便性などに配慮した適正な配置
 - ・ 校舎の状況や適正な学校規模への拡大の可能性などの視点から、計画的な適正配置をめざした再編・統合
 - ・ 学校を核とした地域づくりの視点を勘案

※1 「神奈川県立の高等学校通学区規則」（平成16年12月31日廃止）により平成2年度から定められた通学区のこと。

Ⅲ期計画での再編・統合は、公立中学校卒業予定者の動向等を見定め、段階的に実施します。

具体的には、対象校について、

- 新校設置を計画期間内に完了させるもの（期内）と、
- 計画期間中に再編・統合の準備に着手し、計画期間外に新校を設置するもの（期外）に分けて公表します。

期内の対象校は、令和4年度に公表しています。期外の対象校は、次のとおりです。

横浜南西地域における再編・統合(予定)

再編・統合対象校：舞岡高校、金井高校

※舞岡高校の敷地、施設を活用

再編・統合後の高校：全日制の課程 普通科

Ⅲ期(期外)の工程表

新規	主体	令和10年度 (2028年度)	11年度 (2029年度)	12年度 (2030年度)	13年度 (2031年度)
	舞岡	統合校設置に向けた準備			統合
	金井	統合校設置に向けた準備 11年度入学生の 募集停止	2、3年生	3年生	

再編・統合の内容

<めざす姿>

- 再編・統合後は、これまでの両校の教育活動を踏まえた、地域における新たな高校として、地域との連携を通じて、他者と協働し、社会に貢献できる人材を育成します。
- 舞岡高校の「総合的な探究の時間」の取組みと、金井高校の学力向上のための授業改善の取組みを共有することで、主体的に課題解決を図る力を育成します。
- 両校が実践してきたキャリア教育の取組みを継続するとともに、「探究」を軸とした学習指導を行うことで、将来を見据えた生徒の主体的な進路選択を支援します。

<再編・統合の進め方>

- 金井高校は、令和11年度以降の入学生の募集を停止します。(令和11年度は2、3年生、令和12年度は3年生が在籍します。)
- 金井高校内に設置されている鎌倉支援学校分教室については、金沢支援学校分教室として磯子工業高校内に移設します。

横須賀三浦・湘南地域における再編・統合(予定)

再編・統合対象校：茅ヶ崎西浜高校、寒川高校

※茅ヶ崎西浜高校の敷地、施設を活用

再編・統合後の高校：全日制の課程 普通科

Ⅲ期(期外)の工程表

新規	主体	令和9年度 (2027年度)	10年度 (2028年度)	11年度 (2029年度)	12年度 (2030年度)
	茅ヶ崎 西浜	統合校設置に向けた準備			統合
	寒川	統合校設置に向けた準備 10年度入学生の 募集停止	2、3年生	3年生	

再編・統合の内容

<めざす姿>

- ・ 再編・統合後は、これまでの両校の教育活動を踏まえた、地域における新たな高校として、自律的な生活態度を確立し、規範意識を醸成するとともに、地域との連携や他者との協働による課題解決に取り組み、地域社会の一員としての自覚を持ち、貢献する人材を育成します。
- ・ 寒川高校の確かな学力の育成の取組みと、茅ヶ崎西浜高校のプログラミング教育の取組みを共有することで、主体的に学ぶ意欲を高めるとともに、基本的な知識・技能の習得や論理的な思考力、課題解決力を育成します。
- ・ 両校が実践してきたキャリア教育の取組みを継続することで、生徒一人ひとりが自己の生き方在り方を考え、主体的に進路を選択する能力を育成します。

<再編・統合の進め方>

- ・ 寒川高校は、令和10年度以降の入学生の募集を停止します。(令和10年度は2、3年生、令和11年度は3年生が在籍します。)

中・県西地域における再編・統合(予定)

再編・統合対象校：秦野総合高校、秦野曾屋高校

※秦野総合高校の敷地、施設を活用

再編・統合後の高校：単位制による全日制の課程 総合学科

Ⅲ期(期外)の工程表

新規	主体	令和9年度 (2027年度)	10年度 (2028年度)	11年度 (2029年度)	12年度 (2030年度)
	秦野 総合	統合校設置に向けた準備			統合
	秦野 曾屋	統合校設置に向けた準備 10年度入学生の 募集停止	2、3年生	3年生	

再編・統合の内容

<めざす姿>

- ・ 再編・統合後は、これまでの両校の教育活動を踏まえた、地域における新たな高校として、単位制総合学科のシステムによる、生徒の興味・関心に応じた多様な学びを実践し、生徒一人ひとりの希望に応じた進路の実現をめざします。
- ・ 秦野総合高校の「総合的な探究の時間」の取組みと、秦野曾屋高校の授業力向上の取組みを共有することで、自ら課題を発見し解決する力を育成するとともに、生徒一人ひとりの学力の定着と向上を図ります。
- ・ 両校が実践してきた地域連携の取組みを継続するとともに、秦野曾屋高校の福祉教育の取組みを共有することで、人権を尊重し、豊かな感性を備え、人と社会に貢献できる人材を育成します。

<再編・統合の進め方>

- ・ 秦野曾屋高校は、令和10年度以降の入学生の募集を停止します。(令和10年度は2、3年生、令和11年度は3年生が在籍します。)

県央・相模原地域における再編・統合(予定)

再編・統合対象校：上溝南高校、相模田名高校

※上溝南高校の敷地、施設を活用

再編・統合後の高校：全日制の課程 普通科

Ⅲ期(期外)の工程表

新規	主体	令和10年度 (2028年度)	11年度 (2029年度)	12年度 (2030年度)	13年度 (2031年度)
	上溝南	統合校設置に向けた準備			統合
	相模田名	統合校設置に向けた準備			
11年度入学生の募集停止		2、3年生			

再編・統合の内容

＜めざす姿＞

- ・ 再編・統合後は、これまでの両校の教育活動を踏まえた、地域における新たな高校として、両校が実践してきた地域連携の取組みを継続するとともに、豊かな人間性と規範意識を備え、地域や社会に貢献する人材を育成します。
- ・ 上溝南高校の授業力向上の取組みを生かすことで、生徒一人ひとりの学力の定着と向上を図るとともに、思考力・判断力・表現力等を育成します。
- ・ 相模田名高校のシチズンシップ教育の取組みを生かすことで、より良い社会の実現に向け、生徒一人ひとりが主体的に生きる上での必要な能力と態度を育成します。
- ・ 両校で実践してきたキャリア教育の取組みを継続することで、一人ひとりの進路希望を実現します。

＜再編・統合の進め方＞

- ・ 相模田名高校は、令和11年度以降の入学生の募集を停止します。(令和11年度は2、3年生、令和12年度は3年生が在籍します。)

【再編・統合の対象校への取組み】

- 再編・統合に伴う新校の校名については、今後検討します。
- 学校のこれまでの伝統や教育内容を継承するとともに、資料や記念となる物品等を大切に引き継ぎ、保管や展示に供するスペースの確保と整備に取り組みます。
- 再編・統合にあたっては、敷地・施設を活用する高校の施設・設備等の整備に取り組みます。

資料

【資料①】 実施計画（Ⅲ期）に実施する指定校等の取組みについて

地域 指定		横浜北東・ 川崎地域	横浜南西 地域	横須賀三浦・ 湘南地域	中・県西地域	県央・相模原 地域
教育課程 研究開発 校	シチズンシップ教育	城郷	横浜瀬谷	藤沢総合	小田原東	相模田名 厚木王子
	学習評価	新城	松陽	逗子葉山	平塚農商	上溝
	総合的な探究の時間	市ケ尾	横浜清陵	藤沢西	秦野総合	大和 津久井
	SDGsをテーマと した展開	川崎	舞岡	大船	山北	有馬
授業力向上推進重点校		元石川	横浜立野	追浜	秦野曾屋	上溝南
I C T活用授業 研究推進校		生田東	横浜南陵	藤沢工科	伊勢原	神奈川総合産業
プログラミング教育 研究推進校		住吉	横浜栄	茅ヶ崎西浜	西湘	相模原城山
確かな学力育成推進校		菅	永谷※ ¹	寒川	平塚湘風	愛川
学力向上進学重点校		横浜翠嵐 川和 多摩	柏陽 横浜緑ヶ丘	湘南	小田原	厚木
学力向上進学重点校 (エントリー校)			希望ヶ丘 横浜平沼 光陵 横浜国際	横須賀 鎌倉 茅ヶ崎北陵	平塚江南	大和 相模原
S T E A M教育研究推進校		神奈川工業	光陵	横須賀	秦野	相模原弥栄
理数教育推進校		生田		鎌倉		
グローバル教育 研究推進校		神奈川総合	横浜氷取沢	鶴嶺	大磯	大和西
国際バカロレア認定校		横浜国際				
インクルーシブ教育 実践推進校		城郷 霧が丘 白山 川崎北 菅	保土ヶ谷 上矢部 横浜南陵	津久井浜 湘南台 茅ヶ崎	二宮 伊勢原 足柄	厚木西 綾瀬 上鶴間 橋本
通級指導導入校		生田東	横浜修悠館※ ² 保土ヶ谷※ ³	高浜	綾瀬西	

校名は令和7年4月現在のものです

※1 指定校としての取組みは令和8年度までとし、その成果を再編・統合後の新校に生かします

※2 他校通級指導導入校

※3 令和7年度まで通級指導導入校として指定

【資料②】実施計画（Ⅲ期）に実施する課程・学科等の改編について（予定）

改革内容	実施計画（Ⅲ期）後 （令和13年度時点）※	実施計画（Ⅱ期）後	実施計画（Ⅰ期）後
総合 学科	鶴見総合、 田奈・麻生総合 、 金沢総合、藤沢総合、 秦野総合・秦野曽屋 、 座間総合	鶴見総合、麻生総合、 金沢総合、藤沢総合、 秦野総合（全・定）、 座間総合、 向の岡工業（定）、 磯子工業（定）、 神奈川総合産業（定）	鶴見総合、麻生総合、 金沢総合、藤沢総合、 秦野総合（全・定）、 座間総合、 相模原総合、 向の岡工業（定）、 磯子工業（定）、 神奈川総合産業（定）
単位制 普通科 （神奈川総合とフレ キシブル スクール は除く）	大師、 横浜緑園、 横浜桜陽・永谷 、 横浜清陵、横浜栄、 三浦初声 、 藤沢清流・深沢 、 平塚湘風、 小田原（全・定）、 相模原弥栄、 相模原城山、 神奈川工業（定）、 湘南（定）、 高浜（定） 、 神奈川総合産業（定）	大師、横浜旭陵、 横浜緑園、横浜桜陽、 横浜清陵、横浜栄、 三浦初声 、藤沢清流、 平塚湘風、 小田原（全・定）、 相模原弥栄、 相模原城山、 湘南（定）、 高浜（定）	大師、横浜旭陵、 横浜緑園、横浜桜陽、 横浜清陵、横浜栄、 三浦初声 、藤沢清流、 平塚湘風、 小田原（全・定）、 相模原弥栄、 湘南（定）、 高浜（定）
普通科と専門 学科の 併置	神奈川総合、二俣川、 白山、上矢部、 横須賀南、 三浦初声 、 小田原東、 小田原城北工業・大井 、 厚木王子 、厚木北、 相模原弥栄、津久井、 神奈川工業（定）	神奈川総合、 白山、上矢部、 横須賀南、 三浦初声 、 小田原東、 厚木王子 、厚木北、 相模原弥栄、津久井	白山、上矢部、 横須賀南、 三浦初声 、 小田原東、 厚木北、 相模原弥栄、津久井

 は実施計画（Ⅰ期）における再編・統合校

 は実施計画（Ⅱ期）における再編・統合校

 は実施計画（Ⅲ期・期外）において令和9年度までに開校する再編・統合校

 は実施計画（Ⅲ期・期外）において令和13年度までに開校する再編・統合校

太字は実施計画（Ⅲ期（期外・期外とも））における課程・学科等の改編対象校（再編・統合に伴う課程・学科等の改編も含む）

※ 令和13年度時点で募集停止している課程・学科は除く

定時制課程の募集停止

横浜翠嵐高校（定時制）	学年制普通科
向の岡工業高校（定時制）	単位制総合学科
磯子工業高校（定時制）	単位制総合学科
茅ヶ崎高校（定時制）	学年制普通科
秦野総合高校（定時制）	単位制総合学科
伊勢原高校（定時制）	学年制普通科

学科の改編

二俣川看護福祉高校※	看護科を普通科に改編
神奈川工業高校（定時制）	機械科・電気科・建設科を 単位制普通科・機械科・電気科・建設科に改編
神奈川総合産業高校（定時制）	単位制総合学科を単位制普通科に改編

※ 令和7年4月に二俣川高校に校名変更

【資料③】実施計画（Ⅰ期）・（Ⅱ期）・（Ⅲ期）に実施する再編・統合について

Ⅰ期

再編・統合	…敷地、施設等活用校	下線…教場として活用	※…改革後の課程学科等
氷取沢・磯子			※学年制全日制 普通科
横須賀明光・大楠			※学年制全日制 普通科(クリエイティブスクール)・福祉科
三浦臨海・平塚農業高校初声分校			※単位制全日制 普通科・農業科
平塚農業・平塚商業			※学年制全日制 農業科・総合ビジネス科
高浜・平塚商業(定)			※学年制全日制 普通科、単位制定時制 普通科
弥栄・相模原青陵			※単位制全日制 普通科・音楽科・美術科・スポーツ科学科

Ⅱ期

再編・統合	…敷地、施設等活用校	※…改革後の課程学科等
瀬谷・瀬谷西		※学年制全日制 普通科
逗葉・逗子		※学年制全日制 普通科
厚木東・厚木商業		※学年制全日制 普通科・総合ビジネス科
城山・相模原総合		※単位制全日制 普通科

Ⅲ期（期外を含む）

再編・統合	…敷地、施設等活用校	※…改革後の課程学科等
田奈・麻生総合		※単位制全日制 総合学科（クリエイティブスクール）
旭・横浜旭陵		※学年制全日制 普通科
横浜桜陽・永谷		※単位制全日制 普通科
藤沢清流・深沢		※単位制全日制 普通科
小田原城北工業・大井		※学年制全日制 普通科（クリエイティブスクール） ・機械科・電気科・建設科・デザイン科、 学年制定時制 機械科・電気科
舞岡・金井		※学年制全日制 普通科
茅ヶ崎西浜・寒川		※学年制全日制 普通科
秦野総合・秦野曽屋		※単位制全日制 総合学科
上溝南・相模田名		※学年制全日制 普通科

太字は実施計画（Ⅲ期・期外）における再編・統合校

【参考図表 1】 5つの地域と現在の公立高校の配置状況（令和7年4月現在）

【参考図表 2】 各地域別公立中学校卒業予定者数（令和7年度学校基本調査に基づく推計）

【参考図表 3】 公立中学校卒業生数の推移

【参考図表1】 5つの地域と現在の公立高校の配置状況（令和7年4月現在）



再編・統合等により、平成27年4月現在から校名変更等している県立高校
 上記以外で課程・学科等の改編を行った県立高校



【参考図表 2】各地域別公立中学校卒業予定者数（学校基本調査に基づく推計）

卒業年月		H27. 3	H28. 3	H29. 3	H30. 3	H31. 3	R2. 3	R3. 3	R4. 3
県	H27 推計	69,744	70,319	69,885	68,997	67,937	66,202	64,210	66,230
		100.0%	100.8%	100.2%	98.9%	97.4%	94.9%	92.1%	95.0%
	R7 推計	69,744	70,397	69,996	69,140	68,742	67,115	65,159	67,124
		100.0%	100.9%	100.4%	99.1%	98.6%	96.2%	93.4%	96.2%
	増減	0	78	111	143	805	913	949	894
横 浜 北 東 ・ 川 崎 地 域	H27 推計	20,581	21,016	20,968	20,930	20,211	20,223	19,599	20,508
		100.0%	102.1%	101.9%	101.7%	98.2%	98.3%	95.2%	99.6%
	R7 推計	20,581	21,053	20,989	20,952	20,610	20,623	19,963	20,770
		100.0%	102.3%	102.0%	101.8%	100.1%	100.2%	97.0%	100.9%
	増減	0	37	21	22	399	400	364	262
横 浜 南 西 地 域	H27 推計	15,866	16,050	16,041	15,686	15,614	14,820	14,401	14,840
		100.0%	101.2%	101.1%	98.9%	98.4%	93.4%	90.8%	93.5%
	R7 推計	15,866	16,070	16,122	15,789	15,789	15,098	14,790	15,199
		100.0%	101.3%	101.6%	99.5%	99.5%	95.2%	93.2%	95.8%
	増減	0	20	81	103	175	278	389	359
横 須 賀 三 浦 ・ 湘 南 地 域	H27 推計	11,696	11,825	11,691	11,490	11,756	11,311	10,771	11,154
		100.0%	101.1%	100.0%	98.2%	100.5%	96.7%	92.1%	95.4%
	R7 推計	11,696	11,840	11,663	11,501	11,796	11,349	10,744	11,166
		100.0%	101.2%	99.7%	98.3%	100.9%	97.0%	91.9%	95.5%
	増減	0	15	▲ 28	11	40	38	▲ 27	12
中 ・ 県 西 地 域	H27 推計	8,074	8,025	7,955	7,898	7,629	7,400	7,087	7,181
		100.0%	99.4%	98.5%	97.8%	94.5%	91.7%	87.8%	88.9%
	R7 推計	8,074	8,019	7,974	7,900	7,717	7,474	7,238	7,283
		100.0%	99.3%	98.8%	97.8%	95.6%	92.6%	89.6%	90.2%
	増減	0	▲ 6	19	2	88	74	151	102
県 央 ・ 相 模 原 地 域	H27 推計	13,527	13,403	13,230	12,993	12,727	12,448	12,352	12,547
		100.0%	99.1%	97.8%	96.1%	94.1%	92.0%	91.3%	92.8%
	R7 推計	13,527	13,415	13,248	12,998	12,830	12,571	12,424	12,706
		100.0%	99.2%	97.9%	96.1%	94.8%	92.9%	91.8%	93.9%
	増減	0	12	18	5	103	123	72	159

(単位：人)

R5.3	R6.3	R7.3	R8.3	R9.3	R10.3	R11.3	R12.3	R13.3
66,942	65,909	65,541	65,434	63,429	62,950	62,065	62,249	
96.0%	94.5%	94.0%	93.8%	90.9%	90.3%	89.0%	89.3%	
68,002	67,056	66,347	66,339	64,723	64,591	62,953	63,486	62,640
97.5%	96.1%	95.1%	95.1%	92.8%	92.6%	90.3%	91.0%	89.8%
1,060	1,147	806	905	1,294	1,641	888	1,237	
20,994	20,628	20,454	20,420	19,794	19,646	19,370	19,427	
102.0%	100.2%	99.4%	99.2%	96.2%	95.5%	94.1%	94.4%	
21,284	20,816	20,947	21,016	20,732	20,978	20,427	21,018	20,671
103.4%	101.1%	101.8%	102.1%	100.7%	101.9%	99.3%	102.1%	100.4%
290	188	493	596	938	1,332	1,057	1,591	
14,859	14,650	14,601	14,577	14,131	14,023	13,827	13,867	
93.7%	92.3%	92.0%	91.9%	89.1%	88.4%	87.1%	87.4%	
15,224	15,151	14,869	14,820	14,291	14,374	13,908	13,892	13,614
96.0%	95.5%	93.7%	93.4%	90.1%	90.6%	87.7%	87.6%	85.8%
365	501	268	243	160	351	81	25	
11,318	10,999	11,019	11,001	10,664	10,584	10,433	10,465	
96.8%	94.0%	94.2%	94.1%	91.2%	90.5%	89.2%	89.5%	
11,370	11,057	10,936	10,961	10,716	10,651	10,328	10,385	10,362
97.2%	94.5%	93.5%	93.7%	91.6%	91.1%	88.3%	88.8%	88.6%
52	58	▲ 83	▲ 40	52	67	▲ 105	▲ 80	
7,128	7,047	7,031	7,020	6,805	6,753	6,659	6,679	
88.3%	87.3%	87.1%	86.9%	84.3%	83.6%	82.5%	82.7%	
7,322	7,332	7,032	6,999	6,951	6,721	6,472	6,506	6,359
90.7%	90.8%	87.1%	86.7%	86.1%	83.2%	80.2%	80.6%	78.8%
194	285	1	▲ 21	146	▲ 32	▲ 187	▲ 173	
12,643	12,585	12,436	12,416	12,035	11,944	11,776	11,811	
93.5%	93.0%	91.9%	91.8%	89.0%	88.3%	87.1%	87.3%	
12,802	12,700	12,563	12,543	12,033	11,867	11,818	11,685	11,634
94.6%	93.9%	92.9%	92.7%	89.0%	87.7%	87.4%	86.4%	86.0%
159	115	127	127	▲ 2	▲ 77	42	▲ 126	

注1) 「H27推計」は、平成27年度学校基本調査に基づく推計

平成27年3月は実績数値、平成28年3月から令和12年3月は推計値

注2) 「R7推計」は、令和7年度学校基本調査に基づく推計

令和7年3月までは実績数値、令和8年3月から令和13年3月は推計値

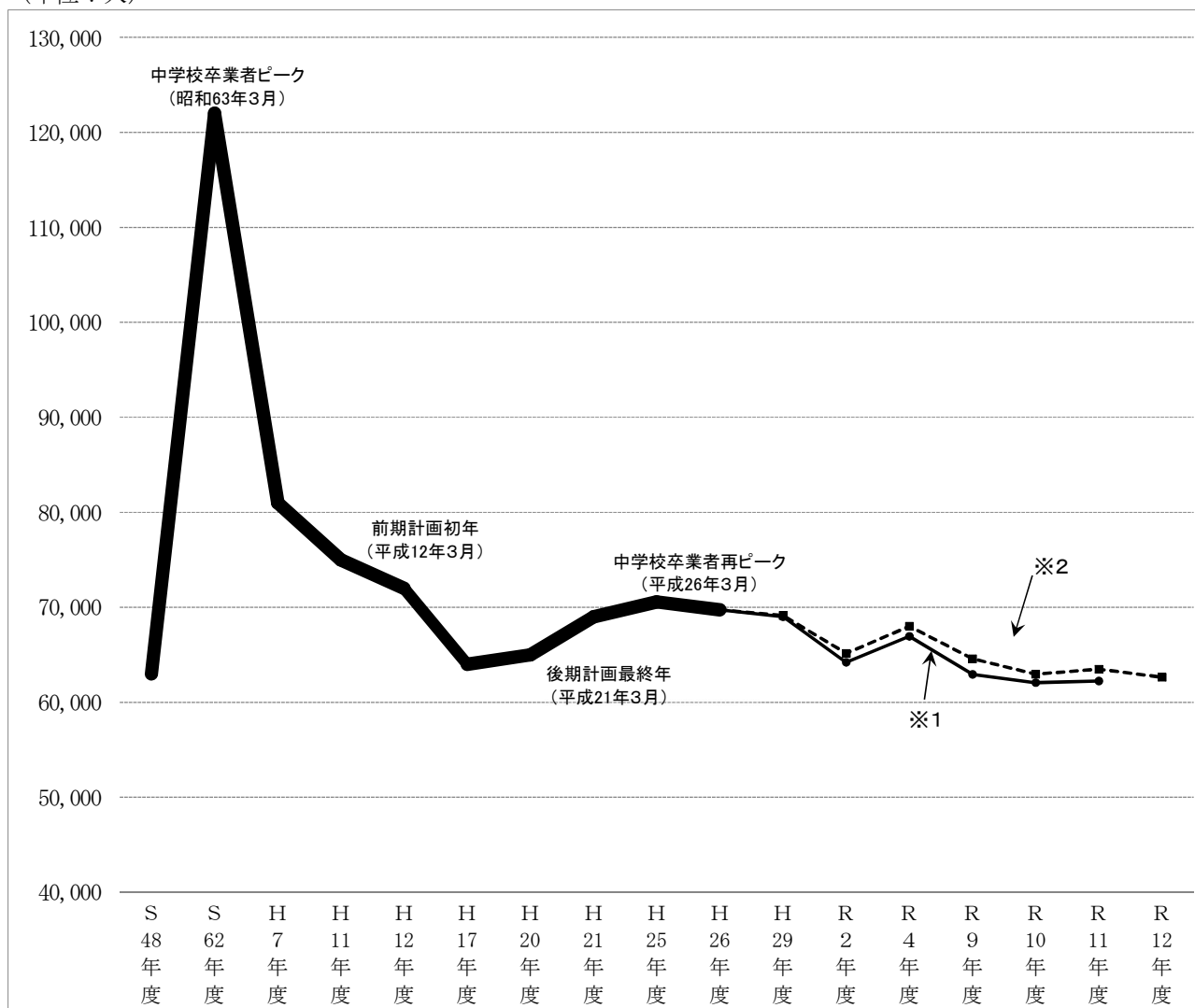
注3) 各推計の下段は、平成27年3月を基準とした増減率

注4) 「増減」は、「H27推計」と「R7推計」を比較した差

※ 資料出所：県教育局調べ

【参考図表 3】 公立中学校卒業生数の推移

(単位：人)



※1 資料出所： 昭和48年度から平成26年度までは実績値。平成27年度から令和5年度までは、平成27年5月1日現在における学校基本調査の公立小・中学校在籍者数に基づく推計値。

※2 資料出所： 昭和48年度から令和6年度までは実績値。令和7年度から令和12年度までは、令和7年5月1日現在における学校基本調査の公立小・中学校在籍者数に基づく推計値。